令和８年１０月

各　位

一般社団法人　農業開発研修センター
会 長 理 事　増　　田　　佳　　昭
［公　　印　　省　　略］

令和８年度　ＪＡの組織基盤強化に関する特別研究会の開催について

拝　啓　時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とＪＡの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の特別研究会は、ＪＡの組識基盤の弱体化が急速に進行する現段階において、ＪＡ運動における女性の参加・参画や女性組織活性化問題に着目しつつ、ＪＡの組織基盤強化のあり方を幅広く議論することをねらいに、企画・開催します。

本研究会では、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催します。是非とも、皆様の研究会への積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

最後に、業務ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、研究会への参加者の派遣に格別のご配慮を賜りたく、重ねてお願いを申し上げます。また、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬　具

ＪＡの組織基盤強化に関する特別研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

≪趣　旨≫

ＪＡをめぐる情勢を見ると、高齢化や離農等を要因として、正組合員の減少に加えて、総組合員数の減少が進行し、組織基盤問題が顕在化しつつあります。このような組合員構造の変化は、ＪＡの事業基盤の縮小に直結し、将来的のＪＡ経営に影響を及ぼす懸念材料となっています。

こうした情勢を踏まえて、ＪＡグループでは、先の第３０回ＪＡ全国大会決議において、「事業と活動の好循環」を挙げ、組識基盤強化戦略と経営基盤強化戦略を効果的に結びつける方向性を提起しています。

そこで、今回の特別研究会では、ＪＡの組識基盤の弱体化が急速に進行する現段階において、ＪＡ運動における女性の参加・参画や女性組織活性化問題に着目しつつ、ＪＡの組織基盤強化のあり方を幅広く議論することをねらいに、企画・開催します。

期　　間：令和８年１１月１９日（木）～２０日（金）

会　　場：京都ＪＡビル　２０１・２０２会議室（アクセス参照）

対　　象：①ＪＡ、都道府県農協中央会・連合会、全国連の総務企画担当役職員
②ＪＡ女性組識リーダー層および担当職員
③都道府県などの地方自治体の協同組合担当部署の職員
④その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員

定　　員：５０名程度

参 加 費：　（税込・一人当たり）

会　　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	４０，７００円＜３６，３００円＞
非　会　員 <>内は、２名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	５１，７００円＜４６，２００円＞
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和８年度(下半期)・９年度の会友会費7,500円を含む）	４３，２００円

注１：会員は、会員所属者および令和７年度以前からの会友（個人会員）の金額です。
注２：令和７年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

昼　　食：
２０日㈮に弁当（1,４００円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

懇 談 会：
参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望者は申込書にご記入ください。
＜開催予定日時＞
と　　き：１１月１９日（木）　１７：３０～（９０分程度）
ところ：ホテルエルシエント京都八条口１階　ＯＲＡＮＧＥ　ＴＥＲＲＡＣＥ
懇談会費：７,０００円（消費税込）　**※ふるってのご参加をお待ちしています。**

申込方法：
①５ページの参加申込書をファックスで送信してください。
②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費ならびにご希望の方は、昼食代・懇談会費を下記の口座へお振り込みください。なお、振込手数料はご負担ください。

〈振込先〉
京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）
本　　店　　当座　　口座番号：６３７３２９１
京都銀行　京都駅前支店　　普通　　口座番号：３１６４０７３
口座名義：一般社団法人農業開発研修センター（シヤ）（ノウギヨウカイハツケンシユウセンター）

申込締切日：１１月１２日（木）１７：００

本研究会の開催要領は、当センターホームページに掲載しています。

キャンセルポリシー：
お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。
・１１月１２日（木）　１７:００まで …… １０,０００円
・１１月１２日（木）　１７:００以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：
一般社団法人農業開発研修センター　研究会受付係

〒６０１－８５８５　京都市南区東九条西山王町１（京都ＪＡビル）
ＴＥＬ：０７５－７４８－０７０３
ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５
E-mail：seminar@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp

アクセス：ＪＲ京都駅（八条口）より徒歩５分

（ＱＲコードもご参照ください）

日　　程：

≪第１日目≫１１月１９日（木）

13:30～13:50　**開会あいさつ・オリエンテーション**

一般社団法人農業開発研修センター　会長理事　　増田　佳昭

13:50～15:10　**報告Ⅰ　未来に向けたＪＡ運動のグランドデザイン**

（うち質疑応答約10分）　**－組織基盤強化と教育文化活動のあり方－**

三重大学名誉教授　　石　田　正　昭　氏

○専門は地域農業論、協同組合論。著書に『ＪＡ女性組織の未来　躍動へのグランドデザイン』『これからの協同組合間連携 いのち・地域を未来につなぐ』（家の光協会）、『ＪＡの運営と組合員組織』（全国共同出版）等多数執筆
○ＪＡ運動における組織基盤問題の所在は
○ＪＡ運動のグランドデザインとＪＡの教育文化活動の役割

15:10～15:30　休　　憩

15:30～16:40　**報告Ⅱ　わがＪＡの組織基盤強化戦略と今後の課題**

（うち質疑応答約10分）　**－ＪＡ運営における女性の参加・参画を中心に－**

神奈川県　秦野市農業協同組合

代表理事組合長　　宮　永　　均　氏

○昭和38年に誕生した秦野市を区域とするＪＡ。組合員総数13,998名（うち、正組合員2,547名）、貯金2,340億円、貸出金436億円、長期共済保有高3,722億円、販売取扱高18億円、購買供給高18億円（令和７年度実績）
○女性部活動などに参加するとポイントが付与される「女性部ポイントカード制度」など多様な取り組みによる組織活動の活性化
○ＪＡの事業や経営方針（役員、各種委員への登用）に女性の声を反映させる仕組みづくりの強化

17:30～19:00　懇談会

≪第２日目≫１１月２０日（金）

シンポジウム「ＪＡの組織基盤強化のあり方を考える
－ＪＡ運動への女性の参加・参画を見据えて－」

9:30～ 9:50　**座長解題**

滋賀県立大学名誉教授　　増　田　佳　昭　氏

＜座長解題＞
○シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
○問題提起と２つの実践報告の位置づけ

9:50～10:50 **問題提起**

一般社団法人日本協同組合連携機構
常務理事　小　林　　元　氏

○ＪＡを取り巻く社会と環境の変化－激変するわが国経済の情勢を踏まえて－
○ＪＡの組織基盤強化と経営基盤強化の両立に向けたポイントは
○ＪＡの組識基盤および経営基盤の確立・強化の取組方向と課題は
　－人財育成の重要性と必要性に立ち返って－

10:50～11:00 休　憩

11:00～12:00 **実践報告①　わがＪＡの組識基盤強化に向けた取り組み**
－女性部・准組合員を核とした組識基盤強化を中心に－

千葉県　市川市農業協同組合　企画部
部　長　五木田　　淳　氏

○昭和38年に誕生した４市（柏市の一部除く）を管内とするＪＡ。組合員総数26,764名（うち正組合員4,434名）、貯金3,909億円、貸出金2,440億円、長期共済保有高6,643億円、販売品取扱高15億円、購買品供給高17億円(令和７年度実績)。
○地域の女性たちとの関係づくりの一環として「ＪＡ女性大学ふれあいカレッジ」のを開校。「新たな仲間づくり」を目的とし、修了後には准組合員・女性部員となって活躍することを目標として講座・カリキュラムを設定
○准組合員化の「その後」を重視した取り組みの一つとして、准組合員対象の「ＪＡカルチャー教室」による准組合員加入メリットの創出と彩り豊富な講座の提供によるＪＡとの関係性の深化

12:00～13:00 昼　食

13:00～14:00 **実践報告②　わがＪＡの組識基盤強化に向けた取り組み**
－次世代を取り込んだ新たな仲間づくりを中心に－

滋賀県　東びわこ農業協同組合　企画総務部　くらしの活動課
課　長　岡　田　保　子　氏

○平成９年に誕生した１市４町を管内とするＪＡ。組合員総数20,893名（うち正組合員7,365名）、貯金2,613億円、貸出金526億円、長期共済保有高4.304億円、販売品取扱高33億円、購買品取扱高15億円(令和７年度実績)。
○「明日の自分をかえていくここでみつける自分時間」をテーマとした次世代ワークショップ「Mirayne（ミレイネ)」による新たな仲間づくり、時間づくりのきかっけを提供
○地域のために積極的に行動するリーダーを育成する「学びの場」として組合員大学「あぐりライフ」の開校とめざす効果－「わがＪＡ」意識を持った次世代組合員リーダーを輩出するために－

14:00～14:20 休　憩

14:20～15:40 **討　論**
(座　長) 前　掲　　増　田　佳　昭　氏
(ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ) 和歌山県農業協同組合　経営戦略室
副室長　川　嶋　美　明　氏
一般社団法人農業開発研修センター
常務理事　瀬　津　　孝

15:40～15:50 **閉会あいさつ**　一般社団法人農業開発研修センター　常務理事　瀬津　孝

注）講師の都合等により、報告時間等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター　行き
〈ＦＡＸ：０７５－７４８－０８５５〉

令和８年度ＪＡの組織基盤強化に関する特別研究会参加申込書

〒　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

ご 住 所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）　　（ふりがな お名前）

部課・役職名	参加者氏名（ふりがな）	会友同時加入（希望者は○）	昼食(弁当)（希望者は○）	懇談会（希望者は○）
〈 記 入 例 〉 総 務・企 画 課 長	けんしゅう たろう 研 修 太 郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送 金 状 況〉
１．振込（予定）先 ・・・・・・ イ．京都信連　ロ．京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

２．振込（予定）日 ・・・・・・　　月　　日

注１）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
≪申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。≫
２）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

令和９年度　農業開発研修センター研究会
年間予約コースのご案内

－“人づくり”が重要な今、役職員の年間研修計画にご活用ください－

研究会年間予約コースは、３つのコースを設定しています。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください。

【メリット】・年間予約制のため受講費の事前確定、受講費の予算化が可能
・役職員の研修計画を担当部署で一括管理が可能

（参加費：税込）

Ⅰ　年間7回のフルコース（２名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に１名、ないし２名参加のコースです。ＪＡにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○特別研究会（9月開催）
※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○農産物流通研究会（11月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（1月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（2月開催）

Ⅱ　金融・共済コース（１名15.4万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた４回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○特別研究会（９月開催）※各年度の時宜に適ったテーマを設定
○ＪＡ共済総合研究会（10月開催）
○ＪＡ金融問題研究会（2月開催）

Ⅲ　営農経済コース（１名14.3万円）

ＪＡの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の４回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

○農協問題総合研究会（7月開催）
○地域農業振興に関する研究会（8月開催）
○農産物流通研究会（11月開催）
○ＪＡの営農事業改革に関する研究会（1月開催）

詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

一般社団法人農業開発研修センター

令和９年度農業開発研修センター研究会開催一覧（予定）

※研究会名・日程等の変更あり。現地視察等については参加費とは別料金

7月 農協問題総合研究会（通算第56回）

【時　期　・　期　間】７月中旬（３日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（組合長・理事長、専務など）、企画担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のＪＡ運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月 地域農業振興に関する研究会（通算第51回）

【時　期　・　期　間】８月下旬（２日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、市町村議会・農政担当部署
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月 特別研究会

【時　期　・　期　間】９月中旬（２日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補、都道府県農協指導検査部署担当者
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマにより実施する。他の研究会よりもテーマをさらに専門に特化した企画内容に力点をおき，実践報告や専門研究者等からの報告と重要課題をテーマにしたシンポジウム方式を採用して実施する。

10月 ＪＡ共済総合研究会（通算第34回）

【時　期　・　期　間】１０月中旬（３日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（共済担当役員など）、共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：59,400円　　非会員：89,100円

ＪＡ運動とＪＡ経営の双方の視点からＪＡ共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進ＪＡや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月 農産物流通研究会（通算第58回）

【時　期　・　期　間】１１月中旬（２日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農経済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ部会リーダー
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

1月 ＪＡの営農事業改革に関する研究会（通算第６回）

【時　期　・　期　間】１月中旬（２日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（営農担当役員など）、営農担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

地域農業振興・活性化の課題（地域農業振興計画の策定・実践を含む）の解明とＪＡの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。開催期間中に現地視察を予定。

2月 ＪＡ金融問題研究会（通算第46回）

【時　期　・　期　間】２月上旬（２日間）　　【開　　催　　地】京都（対面開催）
【推奨する参加者】トップ層（信用・共済担当役員など）、信用・共済担当幹部職員（ＪＡ、連合会、中央会）、ＪＡ幹部候補
【参　　加　　費】会員・会友：40,700円　　非会員：51,700円

ＪＡ金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにＪＡ金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒６０１－８５８５
京都市南区東九条西山王町１　京都ＪＡビル内
一般社団法人農業開発研修センター
ＴＥＬ：075－748－0703　　ＦＡＸ：075－748－0855
Mail　：info@agridtc.or.jp
ＵＲＬ：https://agridtc.or.jp/